

## ひとりだちへの旅

(2014年北米ホームステイ参加者感想文から)

— アメリカ・オハイオ州 —

私はこの夏アメリカのオハイオ州にホームステイしてきました。ファミリーは5人家族、すごく明るくてとても楽しかったです。私はホームステイの最初の1週間 County fair の間にキャンピングカーで泊まっていた。fair の一日目、たくさん友だちを作りたいと“Hello!”とあいさつしたり、名刺を渡そうとしたけれど、無視されてしまったり名刺を“No, thank you”と言われてしまったり、ショックでその日の夜は泣いてしまいました。その時「何がダメだったんだろう、どうしたらいいんだろう」と一生懸命考えました。「たぶん友だちをたくさん作りたいと気持ちが先走ってしまい、さらに緊張していたからあまり笑顔じゃなかったのかな」と自分の中で気持ちを整理したらすごくスッキリしました。

2日目、とにかく笑顔で過ごしました。そうしたら、相手からあいさつや質問してくれてとてもうれしくて笑顔ってこんなにも大事なんだと気付きました。

私は、最初のほうは英語が全く分からなかったけれど、伝えるときはジェスチャーを使って“What say in English?”と聞くと教えてくれました。私は日本でも特別おしゃべりではないけれど、友達のこと、日本のこと、オハイオのことをとにかくたくさん話したくてジェスチャーとカタコトな英語で辞書を使いながらホストやホストフレンドに話していました。英語を使うことによって「言葉って難しいな、でもとても大事なものだ」と気づき、言葉をとてもたいせつに使うようになりました。

ホストファミリーがよく iPhone を使っていてひとりで過ごす時間が長かったので、「私は何のためにここに来たんだろう」と悩んだこともあり。このことは辛かったけど気付いたことがあります。私は国際交流に興味を持ってから「ひとり立ちへの旅」ってなんだろうと思っていました。本当に小さなことだけど、「困ったときに自分でどうすればよいか考える」そんなことがひとり立ちなんじゃないかなと思います。

私がホームステイに行くことができたのは、両親はもちろん、チューターや事務局の人、カレッジリーダー、シャペロンのおかげです。ありがとうございます。

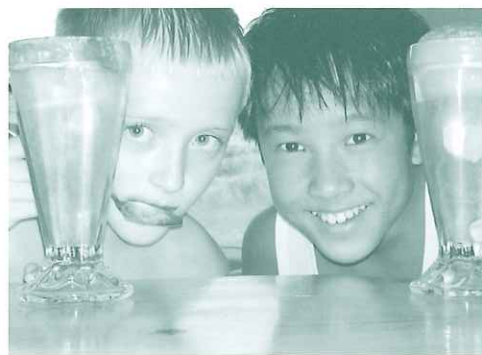
近藤 千尋 (参加時: 中学2年) [名東地区/相澤麻里パーティ]

### ラボ会員の皆様へ

▶ 入場整理券を発行しております。各所属パーティで必ずお求めの上、ご参加ください。当日会場受付で整理券を集めます。お持ちでない方はお断りすることがあります。

▶ 途中での入退場はご遠慮願います。

▶ 昼食は済ませてからご入場ください。食堂はありません。



### ～会場へのご案内～

#### ウィルあいち ウィルホール

愛知県名古屋市東区上笠杉町1番地  
TEL 052-962-2511 (代表)

#### ◆地下鉄名城線

「市役所」駅 2 番出口 徒歩 10 分

#### ◆名鉄瀬戸線

「東大手」駅 徒歩 8 分



# 2015 ラボ国際交流のつどい

## ROWING TO ANOTHER DAWN

アメリカ・カナダ・オーストラリア・中国・  
韓国・ニュージーランド・オレゴン国際キャンプ



2014年 北米交流より

2015年

◎会場：ウィルあいち

4月19日(日)

◎開場12:00

◎開会12:30 ◎閉会15:30  
(予定)

主催：公益財団法人 ラボ国際交流センター

後援：外務省

協賛：ラボ教育センター中部総局/中部ラボ・チューターの会



連絡先：ラボ教育センター中部総局

〒460-0008 名古屋市中区栄3-13-20 栄センタービル3F ☎(052)261-8303

# 人生の宝となる体験を

公益財団法人ラボ国際交流センター  
会長 佐々木 毅

この度海外での生活体験にチャレンジする若い皆さんに心から応援を送りたいと思います。

人間にとっていろいろと考え、頭を使うことは大変大事ですが、それと共に、いろいろな体験をすることはそれに劣らず将来を切り開くために大事です。人生を後から振り返ってみると、思い出すのは何よりもいろいろな体験です。頭で何を考えていたかなどといったことは思い出に残りませんが、体験は鮮やかによみがえります。あの時のあの体験がなかったならば自分の人生はどうなっていたのだろうかなどと、いろいろと思い出されます。

若い皆さんもそれなりに区切りとなる体験を持っていることでしょう。体験は自分に刻み込まれ、自分が形作られる栄養剤のようなものです。勿論、中には辛い体験もないわけではありませんが、そうした体験はしばしば後になってみると自分の人生にとって大きな意味があったことが分かります。良質な体験を持った人の人生は素晴らしく、充実したものであることは言うまでもありません。私は皆さんの今回の海外での滞在体験が皆さんのこれからの人生にとって忘れられない、大きな重要な区切りになることを何よりも祈っております。

よい体験をするためにはそれなりの努力が必要です。いろいろな準備をすることは勿論大切ですが、何よりも大切なことは少々の失敗を恐れず、何事につけ積極的に見知らぬ人々と接することでしょう。分からないことは分からないとはっきり言いましょう。引っ込み思案は先ず止めましょう。引っ込み思案気味の人は少々無理してでも気分の切り替えを計るようにしましょう。そこに思わぬ良い出会いが必ず生まれます。

体験というのは人との出会いであり、出来事との出会いです。人生は出会いの積み重ねのようなものです。実際、出会いを楽しまなければ生きている意味がありません。成功は出会いを楽しみ、多くの楽しい出会いがあってこそ、初めて可能になります。若い人の体験は将来の出会いに向けての予行演習のようなものです。予行演習ですからよくよくやる必要はありませんし、それで人生の行方が決まるわけでもありません。

海外体験は体験の中でも大変に中味の濃い、従って重い体験です。緊張もあるでしょうし、不安もあるでしょう。しかし、緊張もなければ不安もない体験では後に何も残りません。緊張や不安は良い体験に付きまとう条件なのです。今年の海外体験が皆さんにとって一生の宝となるよう、一生懸命取り組んでください。

## PROGRAM

- 開会のことば
- 主催者あいさつ
- 激励メッセージ
- 2015年ラボ国際交流参加者決意表明
- 2015年引率者紹介
- ラボ・インターンスピーチ
- 前年度参加者による体験報告
- 来年度参加予定者紹介
- 閉会のことば

## ラボ国際交流 43 年のあゆみ

### アメリカ交流 (Since 1972)



4-Hクラブをはじめとした、アメリカ 31 州の青少年教育団体との相互交流。

### カナダ交流 (Since 1975)



カナダ4プロビンスの青少年教育団体との相互交流。

### オーストラリア交流 (Since 1983)



ニュー・サウス・ウェールズ州などの日本語教師協会所属の高校で、日本語を学んでいる学生との相互交流。

### 中国交流 (Since 1986)



北京月壇中学、上海外国語大学附属外国語学校の学生との相互交流。

### オレゴン国際キャンプ (Since 1997)



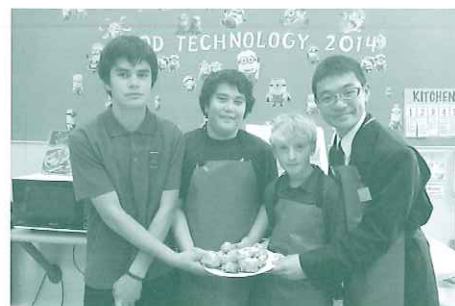
米国オレゴン州のOMSIとの共同プログラムによる雄大な自然の中での青少年自然教育キャンプ。

### 韓国交流 (Since 2001)



社団法人韓国ラボの青少年との相互交流プログラム。韓国のラボ・キャンプにも参加。

### ニュージーランド交流 (Since 2002)



北島のタウランガ周辺にホームステイし、ホストフレンドといっしょに学校生活を体験。交流組織レッツ・ホームステイを中心に行われている相互交流。

### 高校留学プログラム (Since 1988)



国際教育旅行基準協議会 (CSIET) の認可を受けたアメリカと、各州教育委員会が運営するカナダでの、一年間留学プログラム。